

テモテへの手紙一

1 Timothy

新約聖書

第1章

- 1 私たちの救い主である神と、私たちの望みであるキリスト・イエスの命令によって、キリスト・イエスの使徒となったパウロから、
- 2 信仰による、真のわが子テモテへ。父なる神と私たちの主キリスト・イエスから、恵みとあわれみと平安がありますように。
- 3 私がマケドニアに行くときに言ったように、あなたはエペソにとどまり、ある人たちが違った教えを説いたり、
- 4 果てしない作り話と系図に心を寄せたりしないように命じなさい。そのようなものは、論議を引き起こすだけで、神に委ねられた信仰の務めを実現させることにはなりません。
- 5 この命令が目指す目標は、きよい心と健全な良心と偽りのない信仰から生まれる愛です。
- 6 ある人たちはこれらのものを見失い、むなしい議論に迷い込み、
- 7 律法の教師でありたいと望みながら、自分の言っていることも、確信をもって主張している事柄についても理解していません。
- 8 私たちは知っています。律法は、次のことを知っていて適切に用いるなら、良いものです。
- 9 すなわち、律法は正しい人のためにあるのではなく、不法な者や不従順な者、不敬虔な者や罪深い者、汚れた者や俗悪な者、父を殺す者や母を殺す者、人を殺す者、
- 10 淫らな者、男色をする者、人を誘拐する者、嘘をつく者、偽証する者のために、また、そのほかの健全な教えに反する行為のためにあるのです。
- 11 祝福に満ちた神の、栄光の福音によれば、そうなのであって、私はその福音を委ねられたのです。
- 12 私は、私を強くしてくださる、私たちの主キリスト・イエスに感謝しています。キリストは私を忠実な者と認めて、この務めに任命してくださったからです。
- 13 私は以前には、神を冒瀆する者、迫害する者、暴力をふるう者でした。しかし、信じていないときに知らないでしたことだったので、あわれみを受けました。
- 14 私たちの主の恵みは、キリスト・イエスにある信仰と愛とともに満ちあふれました。
- 15 「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。
- 16 しかし、私はあわれみを受けました。それは、キリスト・イエスがこの上ない寛容をまず私に示し、私を、ご自分を信じて永遠のいのちを得ることになる人々の先例にするためでした。
- 17 どうか、世々の王、すなわち、朽ちることなく、目に見えない唯一の神に、誉れと栄光が世々限りなくありますように。アーメン。
- 18 私の子テモテよ。以前あなたについてなされた預言にしたがって、私はあなたにこの命令を委ねます。それは、あなたがあの預言によって、信仰と健全な良心を保ち、立派に戦い抜くためです。
- 19 ある人たちは健全な良心を捨てて、信仰の破船にあいました。
- 20 その中には、ヒメナイとアレクサンドロがいます。私は、神を冒瀆してはならないことを学ばせるため、彼らをサタンに引き渡しました。

第2章

- 1 そこで、私は何よりもまず勧めます。すべての人のために、王たちと高い地位にあるすべての人のために願い、祈り、とりなし、感謝をささげなさい。
- 2 それは、私たちがいつも敬虔で品位を保ち、平安で落ち着いた生活を送るためです。
- 3 そのような祈りは、私たちの救い主である神の御前において良いことであり、喜ばれることです。
- 4 神は、すべての人が救われて、真理を知るようになることを望んでおられます。
- 5 神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。
- 6 キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自分を与えてくださいました。これは、定められた時になされた証しです。
- 7 その証しのために、私は宣教者、使徒、そして、信仰と真理を異邦人に教える教師に任命されました。私は真実を言っていて、偽ってはいません。
- 8 そういうわけで、私はこう願っています。男たちは怒ったり言い争ったりせずに、どこでも、きよい手を上げて祈りなさい。
- 9 同じように女たちも、つつましい身なりで、控えめに慎み深く身を飾り、はでな髪型や、金や真珠や高価な衣服ではなく、
- 10 神を敬うと言っている女たちにふさわしく、良い行いで自分を飾りなさい。
- 11 女は、よく従う心をもって静かに学びなさい。
- 12 私は、女が教えたり男を支配したりすることを許しません。むしろ、静かにしていなさい。
- 13 アダムが初めに造られ、それからエバが造られたからです。
- 14 そして、アダムはだまされませんでした。女はだまされて過ちを犯したのです。
- 15 女は、慎みをもって、信仰と愛と聖さにとどまるなら、子を産むことによって救われます。

第3章

- 1 次のことは真実です。「もしだれかが監督の職に就きたいと思うなら、それは立派な働きを求めることである。」
- 2 ですから監督は、非難されるところがなく、一人の妻の夫であり、自分を制し、慎み深く、礼儀正しく、よくもてなし、教える能力があり、
- 3 酒飲みでなく、乱暴でなく、柔和で、争わず、金銭に無欲で、
- 4 自分の家庭をよく治め、十分な威厳をもって子どもを従わせている人でなければなりません。
- 5 自分自身の家庭を治めることを知らない人が、どうして神の教会を世話することができるでしょうか。
- 6 また、信者になったばかりの人であってははいけません。高慢になって、悪魔と同じさばきを受けることにならないようにするためです。
- 7 また、教会の外の人々にも評判の良い人でなければなりません。嘲られて、悪魔の罠に陥らないようにするためです。
- 8 同じように執事たちも、品位があり、二枚舌を使わず、大酒飲みでなく、不正な利を求めず、

- 9 きよい良心をもって、信仰の奥義を保っている人でなければなりません。
- 10 この人たちも、まず審査を受けさせなさい。そして、非難される点がなければ、執事として仕えさせなさい。
- 11 この奉仕に就く女の人も同じように、品位があり、人を中傷する者でなく、自分を制し、すべてに忠実な人でなければなりません。
- 12 執事は一人の妻の夫であって、子どもと家庭をよく治める人でなければなりません。
- 13 執事として立派に仕えた人は、良い地歩を占め、また、キリスト・イエスを信じる信仰について、強い確信を持つことができます。
- 14 私は、近いうちにあなたのところに行きたいと思いながら、これらのことを書いています。
- 15 たとえ遅くなった場合でも、神の家でどのように行動すべきかを、あなたに知っておいてもらうためです。神の家とは、真理の柱と土台である、生ける神の教会のことです。
- 16 だれもが認めるように、この敬虔の奥義は偉大です。「キリストは肉において現れ、霊において義とされ、御使いたちに見られ、諸国の民の間で宣べ伝えられ、世界中で信じられ、栄光のうちに上げられた。」

第4章

- 1 しかし、御霊が明らかに言われるように、後の時代になると、ある人たちは惑わす霊と悪霊の教えとに心を奪われ、信仰から離れるようになります。
- 2 それは、良心が麻痺した、偽りを語る者たちの偽善によるものです。
- 3 彼らは結婚することを禁じたり、食物を断つことを命じたりします。しかし食物は、信仰があり、真理を知っている人々が感謝して受けるように、神が造られたものです。
- 4 神が造られたものはすべて良いもので、感謝して受けるとき、捨てるべきものは何もありません。
- 5 神のことばと祈りによって、聖なるものとされるからです。
- 6 これらのことを兄弟たちに教えるなら、あなたは、信仰のことばと、自分が従ってきた良い教えのことばで養われて、キリスト・イエスの立派な奉仕者になります。
- 7 俗悪で愚にもつかない作り話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分自身を鍛錬しなさい。
- 8 肉体の鍛錬も少しは有益ですが、今のいのちと来たるべきいのちを約束する敬虔は、すべてに有益です。
- 9 このことばは真実であり、そのまま受け入れるに値するものです。
- 10 私たちが労苦し、苦闘しているのは、すべての人々、特に信じる人々の救い主である生ける神に、望みを置いているからです。
- 11 あなたはこれらのことを命じ、また教えなさい。
- 12 あなたは、年が若いからといって、だれにも軽く見られないようにしなさい。むしろ、ことば、態度、愛、信仰、純潔において信者の模範となりなさい。
- 13 私が行くまで、聖書の朗読と勧めと教えに専念しなさい。
- 14 長老たちによる按手を受けたとき、預言によって与えられた、あなたのうちにある賜物を軽んじてはいけません。

- 15 これらのことに心を砕き、ひたすら励みなさい。そうすれば、あなたの進歩はすべての人に明らかになるでしょう。
- 16 自分自身にも、教えることにも、よく気をつけなさい。働きをあくまでも続けなさい。そうすれば、自分自身と、あなたの教えを聞く人たちとを、救うことになるのです。

第5章

- 1 年配の男の人を叱ってはいけません。むしろ、父親に対するように勧めなさい。若い人には兄弟に対するように、
- 2 年配の女の人には母親に対するように、若い女の人には姉妹に対するように、真に純粋な心で勧めなさい。
- 3 やもめの中の本当のやもめを大事にしなさい。
- 4 もし、やもめに子どもか孫がいるなら、まずその人たちに、自分の家の人に敬愛を示して、親の恩に報いることを学ばせなさい。それが神の御前に喜ばれることです。
- 5 身寄りのない本当のやもめは、望みを神に置いて、夜昼、絶えず神に願いと祈りをささげていますが、
- 6 自堕落な生活をしているやもめは、生きてはいても死んでいるのです。
- 7 彼女たちが非難されることのないように、これらのことも命じなさい。
- 8 もしも親族、特に自分の家族の世話をしない人がいるなら、その人は信仰を否定しているのであって、不信者よりも劣っているのです。
- 9 やもめとして名簿に載せるのは、六十歳未満ではなく、一人の夫の妻であった人で、
- 10 良い行いによって認められている人、すなわち、子どもを育て、旅人をもてなし、聖徒の足を洗い、困っている人を助けるなど、すべての良いわざに励んだ人にしなさい。
- 11 若いやもめの登録は断りなさい。彼女たちは、キリストに背いて情欲にかられると、結婚したがりがり、
- 12 初めの誓いを捨ててしまったと非難を受けることになるからです。
- 13 そのうえ、怠けて、家々を歩き回ることを覚えます。ただ怠けるだけでなく、うわさ話やおせっかいをして、話さなくてよいことまで話すのです。
- 14 ですから、私が願うのは、若いやもめは結婚し、子を産み、家庭を治め、反対者にそしる機会をいっさい与えないことです。
- 15 すでに道を踏み外し、サタンの後について行ったやもめたちがいるからです。
- 16 もし信者である女の人に、やもめの身内がいるなら、その人がそのやもめを助けて、教会に負担をかけないようにしなさい。そうすれば、教会は本当のやもめを助けることができます。
- 17 よく指導している長老は、二倍の尊敬を受けるにふさわしいとしなさい。みことばと教えのために労苦している長老は特にそうです。
- 18 聖書に「脱穀をしている牛に口籠をはめてはならない」、また「働く者が報酬を受けるのは当然である」と言われているからです。
- 19 長老に対する訴えは、二人か三人の証人がいなければ、受理してはいけません。
- 20 罪を犯している者をすべての人の前で責めなさい。そうすれば、ほかの人たちも恐れを抱くでしょう。

- 21 私は、神とキリスト・イエスと選ばれた御使いたちの前で、あなたに厳かに命じます。これらのことを先入観なしに守り、何事もえこひいきせずに行いなさい。
- 22 だれにも性急に按手をしてはいけません。また、ほかの人の罪に加担してはいけません。自分を清く保ちなさい。
- 23 これからは水ばかり飲まないで、胃のために、また、たびたび起こる病気のために、少量のぶどう酒を用いなさい。
- 24 ある人たちの罪は、さばきを受ける前から明らかですが、ほかの人たちの罪は後で明らかになります。
- 25 同じように、良い行いも明らかですが、そうでない場合でも、隠れたままでいることはありません。

第6章

- 1 奴隷としてくびきの下にある人はみな、自分の主人をあらゆる面で尊敬に値する人と思わなければなりません。神の御名と教えが悪く言われないようにするためです。
- 2 信者である主人を持つ人は、主人が兄弟だからといって軽んじることなく、むしろ、ますますよく仕えなさい。その良い行いから益を受けるのは信者であり、愛されている人なのでから。あなたはこれらのことを教え、また勧めなさい。
- 3 違ったことを教え、私たちの主イエス・キリストの健全なことばと、敬虔にかなう教えに同意しない者がいるなら、
- 4 その人は高慢になっていて、何一つ理解しておらず、議論やことばの争いをする病気にかかっているのです。そこから、ねたみ、争い、ののしり、邪推、絶え間ない言い争いが生じます。
- 5 これらは、知性が腐って真理を失い、敬虔を利得の手段と考える者たちの間に生じるのです。
- 6 しかし、満ち足りる心を伴う敬虔こそが、大きな利益を得る道です。
- 7 私たちは、何もこの世に持って来なかったし、また、何かを持って出ることもできません。
- 8 衣食があれば、それで満足すべきです。
- 9 金持ちになりたがる人たちは、誘惑と罠と、また人を滅びと破滅に沈める、愚かで有害な多くの欲望に陥ります。
- 10 金銭を愛することが、あらゆる悪の根だからです。ある人たちは金銭を追い求めたために、信仰から迷い出て、多くの苦痛で自分を刺し貫きました。
- 11 しかし、神の人よ。あなたはこれらのことを避け、義と敬虔と信仰、愛と忍耐と柔和を追い求めなさい。
- 12 信仰の戦いを立派に戦い、永遠のいのちを獲得しなさい。あなたはこのために召され、多くの証人たちの前で素晴らしい告白をしました。
- 13 私は、すべてのものにいのちを与えてくださる神の御前で、また、ポンティオ・ピラトに対して素晴らしい告白をもって証しをされたキリスト・イエスの御前で、あなたに命じます。
- 14 私たちの主イエス・キリストの現れの時まで、あなたは汚れなく、非難されるところなく、命令を守りなさい。
- 15 キリストの現れを、定められた時にもたらしてくださる、祝福に満ちた唯一の主権者、王の王、主の主、

- 16 死ぬことがない唯一の方、近づくこともできない光の中に住まれ、人間がだれ一人見たことがなく、見ることもできない方。この方に誉れと永遠の支配がありますように。アーメン。
- 17 今の世で富んでいる人たちに命じなさい。高慢にならず、頼りにならない富にではなく、むしろ、私たちにすべての物を豊かに与えて楽しませてくださる神に望みを置き、
- 18 善を行い、立派な行いに富み、惜しみなく施し、喜んで分け与え、
- 19 来たるべき世において立派な土台となるものを自分自身のために蓄え、まことのいのちを得るように命じなさい。
- 20 テモテよ、委ねられたものを守りなさい。そして、俗悪な無駄話や、間違っ「知識」と呼ばれている反対論を避けなさい。
- 21 ある者たちはこの「知識」を持っていると主張して、信仰から外れてしまっています。恵みがあなたがたとともにありますように。